

## FRP 製浄化槽が設置中に浮上した

### 事例の概要

FRP製浄化槽の設置工事で、山留に鋼矢板を採用しました。浄化槽の据付が完了し山砂と発生土で埋め戻した後、バイブロハンマで鋼矢板の引抜きを行ったところ、浮上防止バンドが破断して浄化槽が浮上してしまいました。

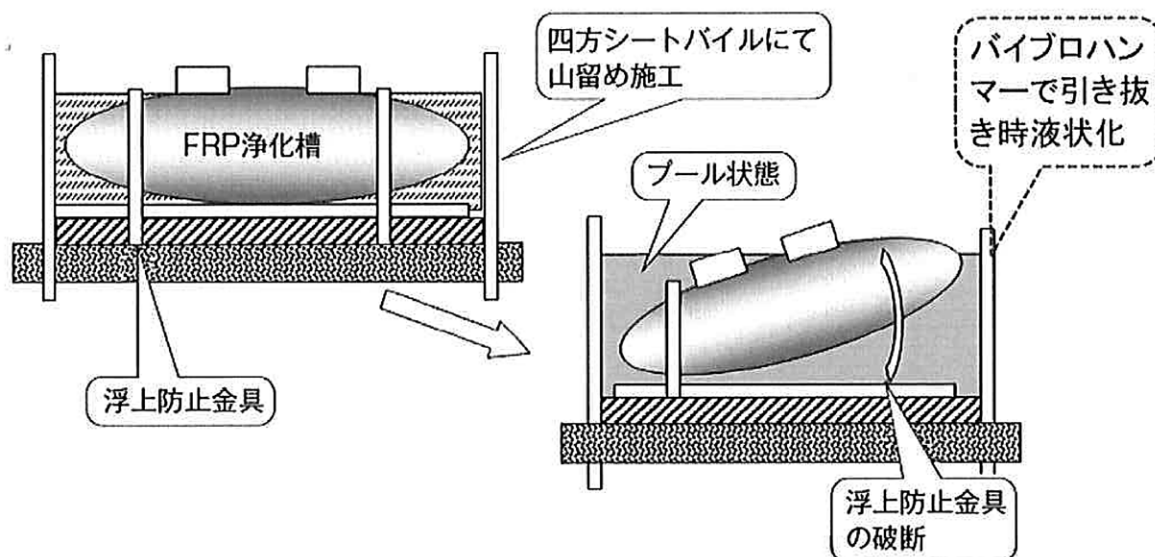
### 原因

鋼矢板は水密性が高く、雨水が山留内部にかなり浸透した状態で鋼矢板の引抜きを行ったため、ハンマの振動により液状化現象が起きたことによるものです。

### 対応策と教訓

- ①浄化槽を掘り返し、損傷がないことを確認のうえ再設置を行いました。山留内部には、雨水が入らないよう養生し、鋼矢板を抜き始める時は埋め戻し部の状況を確認しながら数回に分けて引き抜くなど、液状化をさせないための工夫が必要です。
- ②浄化槽本体にかなりの浮力が働くので、鋼矢板の引抜き時には浄化槽内部を満水状態にしておくことも重要です。

### 解説図



※浄化槽の設置工事は、「浄化槽工事の技術上の基準及び浄化槽の設置等の届出に関する省令」に定める基準に従って都道府県知事の登録を受けた工事業者が行い、浄化槽設備士が実地に監督するか、又は自らが工事を行わなければなりません。